

演習問題

■ 第20回午前問題36-

糖質コルチコイド（ステロイド薬）が有効な疾患はどれか。

- a. ウイルソン病
- b. 潰瘍性大腸炎
- c. クローン病
- d. 腸結核
- e. 胃潰瘍

1. a b
2. a e
3. b c
4. c d
5. d e

副腎皮質で産生されるステロイドホルモンの中で、主にグルココルチコイド活性を持つコルチゾールやその合成薬がステロイドとして用いられる。主な作用は抗炎症作用であり、免疫を抑制することにより、症状を見かけ上改善することができる。炎症・アレルギー・膠原病など幅広い疾患に用いられる。

■ 正解 3

■ 第20回午前問題37-

消化器疾患とその原因との組合せで正しいのはどれか。

- a. 食道静脈瘤——肝硬変
- b. 食道炎——胃液逆流
- c. 胃潰瘍——ピロリ菌
- d. 胆石症——高尿酸血症
- e. 大腸癌——内痔核

1. a b c
2. a b e
3. a d e
4. b c d
5. c d e

a) 肝硬変などで門脈～肝臓～冠静脈の血液ルートが阻害されると、門脈圧亢進をきたし、門脈→左胃静脈→食道静脈→奇靜脈のバイパスが形成される。食道静脈は粘膜直下を走るため、積み重なるように拡張した血管がみられる。これを食道静脈瘤という。しばし破裂し、吐血する。
 b) 胃酸の逆流により、食道粘膜の発赤やびらんを呈すものを逆流性食道炎といいう。
 c) 胃・十二指腸の粘膜下層までにおよぶ欠損をいう。胃粘膜の防御因子（血液や粘液）と攻撃因子（ペプシンや胃酸、ピロリ菌）の平衡が破れることで形成されると考えている。

■ 正解 1

■ 第21回午前問題37-

胃潰瘍の発症に関与する因子について誤っているのはどれか。

- a. ストレス
- b. ピロリ菌
- c. クラミジア
- d. H₂遮断薬
- e. 非ステロイド系抗炎症薬 (NSAID)

1. a b
2. a e
3. b c
4. c d
5. d e

胃潰瘍の発症に関与する因子にはピロリ感染、非ステロイド性消炎鎮痛薬 (NSAIDs) や抗菌薬の使用、ストレス（手術、外傷、熱傷など）、喫煙等がある。H₂遮断薬は胃酸の分泌をおさえる目的で胃潰瘍の治療に使用されることがある。

■ 正解 4

■ 第24回午後問題18

急性胃粘膜病変の原因でないのはどれか。

1. アルコール多飲
2. 甲状腺機能低下症
3. 非ステロイド系消炎鎮痛薬
4. ストレス
5. 熱傷

急性胃粘膜病変の原因には非ステロイド性消炎鎮痛薬 (NSAIDs) や抗菌薬の使用、ストレス (手術、外傷、熱傷など)、喫煙等がある。

■ 正解 2

■ 第25回午前問題19

白血球除去療法の適応がある疾患はどれか。

1. 逆流性食道炎
2. 胃潰瘍
3. 胃癌
4. 大腸ポリープ
5. 潰瘍性大腸炎

自己を攻撃している活性化した白血球を除去する治療法として以下のLCAPとGCAPがある。

白血球除去療法 (LCAP) : 潰瘍性大腸炎

顆粒球吸着療法 (GCAP) : 潰瘍性大腸炎、クローゼン病

■ 正解 5

■ 第26回午後問題18

胃潰瘍の発症に関与する因子でないのはどれか。

- a. ストレス
- b. 非ステロイド系抗炎症薬 (NSAIDs)
- c. H₂遮断薬
- d. クラミジア感染
- e. ヘリコバクター・ピロリ感染

1. a b
2. a e
3. b c
4. c d
5. d e

胃潰瘍の発症に関与する因子にはピロリ感染、非ステロイド性消炎鎮痛薬 (NSAIDs) や抗菌薬の使用、ストレス (手術、外傷、熱傷など)、喫煙等がある。H₂遮断薬は胃酸の分泌をおさえる目的で胃潰瘍の治療に使用されることがある。

■ 正解 4

■ 第27回午前問題18

副腎皮質ステロイドが治療に用いられる疾患はどれか。

- a. 食道アカラシア
- b. 胃潰瘍
- c. 大腸ポリープ
- d. クローン病
- e. 潰瘍性大腸炎

1. a b
2. a e
3. b c
4. c d
5. d e

副腎皮質で産生されるステロイドホルモンの中で、コルチゾールやその合成薬がステロイドとして用いられる。主な作用は抗炎症作用であり、免疫を抑制することにより、症状を見かけ上改善することができる。炎症・アレルギー・膠原病など幅広い疾患に用いられる。

a) 食道アカラシアとは食道の蠕動障害と嚥下時の下部食道括約筋の弛緩不全を特徴とする食道運動障害である。症状は緩徐に進行する嚥下困難（通常は液体と固体物の両方）と未消化の食物の逆流である。

■ 正解 5

■ 第27回午後問題19

ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療が有効とされる疾患はどれか。

1. 食道静脈瘤
2. 胃潰瘍
3. 慢性肝炎
4. 解離性大動脈瘤
5. 慢性骨髄性白血病

ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療が有効とされる疾患には慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病などがある。

■ 正解 2

■ 第29回午前問題19

H.pylori (ピロリ菌) 感染が誘因となる疾患はどれか。

- a. 胃癌
- b. 胃潰瘍
- c. 潰瘍性大腸炎
- d. 逆流性食道炎
- e. 特発性血小板減少性紫斑病

1. a b c
2. a b e
3. a d e
4. b c d
5. c d e

ヘリコバクター・ピロリ感染が誘因となる疾患には慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病などがある。

■ 正解 2

■ 第29回午後問題18

イレウスでみられないのはどれか。

1. 腹痛
2. 嘔吐
3. 排ガス停止
4. 腹部膨満
5. 脂肪便

イレウス（腸閉塞）とは何らかの原因で腸管の通過が阻止された状態である。症状は腹痛、嘔吐、腹部膨満、排便の停止、排ガスの停止、脱水による電解質異常等である。

5) 脂肪便は慢性膵炎でみられる所見である。

■ 正解 5

■ 第30回午前問題18

ヘリコバクター・ピロリ菌と関連のある疾患はどれか。

- a. 食道癌
- b. 胃潰瘍
- c. 胃癌
- d. 十二指腸潰瘍
- e. 潰瘍性大腸炎

1. a b c 2. a b e 3. a d e
4. b c d 5. c d e

ヘリコバクター・ピロリ感染が誘因となる疾患には慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病などがある。

■ 正解 4

■ 第31回午前問題20

逆流性食道炎について誤っているのはどれか。

- 1. 胃液の逆流によって発生する。
- 2. アルコール摂取は増悪因子である。
- 3. 高齢者に多い。
- 4. 肥満者に多い。
- 5. ヘリコバクター・ピロリの除菌により改善する。

逆流性食道炎は、胃液が食道に逆流して食道粘膜が炎症を起こす状態である。下部食道括約筋の機能不全が原因である。高齢者や肥満者に多く、大食、アルコール摂取は症状の増悪因子となる。症状は胸焼、胸痛、咳嗽などであり、胃酸分泌抑制剤を投与する。

■ 正解 5

■ 第32回午前問題19

食道炎の原因となるのはどれか。

- a. 胃液の逆流
- b. 唾液の嚥下
- c. 高血圧
- d. 化学物質
- e. 真菌の感染

1. a b c 2. a b e 3. a d e
4. b c d 5. c d e

食道炎の原因として最も頻度が高いのは逆流性食道炎である。その他に、カンジダなどの真菌感染、粘膜障害性の薬物の付着や化学薬品の誤嚥などである。

■ 正解 3

■ 第32回午前問題20-

胃潰瘍の原因となるのはどれか。

- a. カンジダ
 - b. ヘリコバクターピロリ菌
 - c. 非ステロイド性消炎鎮痛薬
 - d. 熱傷
 - e. 黄色ブドウ球菌
1. a b c 2. a b e 3. a d e
4. b c d 5. c d e

a) カンジダは胃潰瘍の原因にはならない。日和見感染の原因菌の一つであり、食道炎を引き起こすことはある。

e) 黄色ブドウ球菌は胃潰瘍の原因にはならない。食中毒の原因菌となることは多い。

■ 正解 4

■ 第33回午後問題18-

白血球除去療法が適応となる疾患はどれか。

- 1. 逆流性食道炎
- 2. 急性膀胱炎
- 3. 急性胆管炎
- 4. 潰瘍性大腸炎
- 5. 急性肝炎

自己を攻撃している活性化した白血球を除去する治療法として以下のLCAPとGCAPがある。

白血球除去療法 (LCAP) : 潰瘍性大腸炎

顆粒球吸着療法 (GCAP) : 潰瘍性大腸炎、クローゼン病

■ 正解 4